

説 教

Open Church 礼拝 北浜チャーチ

2022年5月22日（日）

黒田 禎一郎

主 題：「人生はパズルのようだ」

—幸いな人生の秘訣—

テキスト：詩篇84篇10～12節

はじめに

・お早う ございます！

- ・世の中、分からないことが多くあります。
- ・例えばですが、言葉を取り上げてみましょう。世界には6千900ぐらいの言語があるとされます。そしてネパールのような小さな国でも、120以上の言語が存在しているそうです。そこには人々が住み、文化、習慣、伝統、そして歴史が存在しています。なにか**不思議ですね**。
- ・それに言葉が違くと、互いに意思の疎通を交わせません。アフリカ大陸では数えられないほどの言語（中には、文字がない言葉もある）があるそうです。隣村に行けば、言葉が全く通じないことがあるようです。なにか**不思議ですね**。
- ・日本に目を向けてみましょう。言語学者によれば、日本の方言は地域によって分類されて16種類あるそうです。そしてそれに「方言」があります。北日本と南日本の言葉では、まったくというほど違いがあります。時には意味が通じないことさえあります。**不思議ですね**。
- ・人間が生きていく上で大切な言葉も、考えてみれば、世界の全てを把握すること不可能でしょう。なぜ、こんなに多数の言葉（言語）や、民族があるのでしょうか。じつに**不思議ですね**。

- ・これは言語を上げたのですが、他に私たちの皮膚の色の違い、民族の違い等があります。考えてみれば、世の中には**不思議なことが多くあります**。地球には、このように異なる言語をもつ人間が住んでいます。じつに複雑で、まるでそれはパズルのようです。

- ・皆さん！ 私たちの人生を考えても、不思議であると思いませんか。たとえば、自分がどうして存在しているかです。それは両親がいるからです。では、両親はどこから来たのでしょうか。両親はある時どこかで、「出会い」、そして結婚しました。ですから私が存在します。
- ・しかも多くの場合、結婚は、ある時、ある所で、ある人と「出会い」始まりま

す。それまでは、お互いに知りませんでした。しかし、その「出会い」から始まり結婚へと導かれます。これも不思議ですね。世の中では、理解できない「不思議なこと」が多くあります。まるでパズルのようです。

- ・しかし、パズルもピースを一つずつ置いていくなれば、パズルは完成します。1枚の美しいパズルの完成品を見ることができます。同じように、聖書のみことばをパズルのピースと置くなれば、一つひとつ不思議な部分が埋められ、やがて神が計画しておられる作品となります。
- ・分からないことが多い今の時代、聖書のみことばを、あなたの心に一つひとつ置いていきませんか。それは幸いな人生の始まりとなります。
- ・詩篇84篇の作者は次のように歌いました。
84:5 なんと幸いなことでしょう。その力があなたにあり心の中にシオンへの大路のある人は。
- ・ここで書かれている「あなた」とは、天と地を創造された神のことです。聖書の民であるユダヤ人たちは毎年、エルサレムのシオンの山（丘）にあった神殿に向かい、巡礼の旅をしていました。この詩は巡礼者の歌です。著者は、「心の中にシオンへの大路にある人は」、「なんと幸いなことでしょう」と歌いました。
- ・皆さん。この詩は神の「天の御国」へ向かう巡礼者の旅路を歌ったものです。「天の御国」、そこはどんな所でしょうか？ 詩篇84篇10節
84:10 まことにあなたの大庭にいる一日は千日にまさります。私は悪の天幕に住むよりは私の神の家の門口に立ちたいのです。
- ・地上では苦しみや悩み、それに多くの理不尽なことが多々あります。聖書は、死後の世界があることを明言しています。天の御国に向かい巡礼する道は、決して逃避ではありません。いいえ、神が私たちに備えておられるすばらしい御国です。そこに向かって歩む人生は自然であり、正しいことです。
- ・今日、私たちは「幸いな人生の秘訣」を、聖書から考えてみましょう。私たちは幸いな人生を送るために、何が必要でしょうか。2点

大切なポイント

1. 自分を見つめなさい

1) 立ち止まること

- ・人は、他人の姿は見えますが、自分の姿は見えないものです。心に残る深い苦しみ、避けられない病気、試練、また非常に嬉しかったことは覚えています。しかし、人生にはいろいろなことが起こります。ですから、自分の人生をトータルで見るとは大切なことです。人生は、一步一步の積み重ねです。

- ・では、どうすれば見えるでしょうか？

⇒それは「立ち止まること」です。

{例 話}

- ・北浜チャーチの近くには、大阪市民に親しまれている中之島公園があります。最近に行くチャンスが減りましたが、そこには沢山の鳩がいますベンチに座り、鳩の動きを観察していると面白いことが分かりました。
- ・鳩は空を自由に飛ぶことができる、優ぐれた鳥です。鳩の習性のひとつは、何千キロメートルも離れた所で放つても、自分の古巣を覚えていて、必ず戻ってきます。しかし、地上では違います。その鳩が地上にいる時、鳩は数歩いては止まり、また数歩歩いては止まり、首を左右に振りつつ、その動作を繰り返します。
- ・後で。私は専門家から聞いた話しですが、鳩は地上で、2、3歩、歩いては止まる行動は、自分の位置確認をしているのだそうです。鳩は地上では空とは違い、自分の位置を2、3歩、歩いては確認しなければならない習性があるそうです。
- ・皆さん。私たちも多忙な日々を過ごしている中で、静かに立ち止まることは大切です。位置確認のためです。ドイツの宗教改革者マルチン・ルターは、「聖書は心の鏡である」と言いました。まず第一に、大切なことは日々立ち止まることです。
多忙な日々の時間の流れの中で、心を静め、心の鏡である聖書を開いて読むことです。鏡は私たちの心を写し出してくれます。

2) 神はいつもおられる

84:11 まことに神である【主】は太陽また盾。【主】は恵みと栄光を与え
誠実に歩む者に良いものを拒まれません。

- ・詩篇作者は、神は私たちの主であり、私たちの太陽であり、また私たちを守る盾である、と歌いました。私たちは人生において、さまざまな問題をかかえます。問題のない人はいません。
- ・人生で問題があるのが、問題ではありません。問題は、問題にどう取り組むかが問題なのです。⇒ 適格な判断（知恵）は助けとなります。正しい判断を下すことができれば、結果は良いのです。逆に判断を誤れば、結果がまずくなります。
- ・では、どうすれば良いでしょうか。聖書は箴言で次のように語っています。
1:7 【主】を恐れることは知識の初め。愚か者は知恵と訓戒を蔑む。
聖書は知恵と訓戒に富む神の書です。聖書を学ぶことは、適格な判断（知恵）をいただく道です。神は生きておられ、日々私たちにお語りください

ます。大切なことは、神を恐れることです。

- ・私の人生を振り返るならば、神はこんな小さな者に善くしてくださいました。太陽の光のように私を先導してくださいました。ある時は、盾となり私をお守りくださいました。私は23歳でドイツへ留学しました。そして30歳で神の召しにあずかり、献身しました。それ以降、丁度42年となります。

{例 話}

- ・私はデュッセルドルフで伝道を始めた時は、満30歳でした。それはドイツ在住の多数の邦人が、生ける真の神を知らず、人生の意味が分からず、さまざまな戦いの中に置かれていた姿を見た時、すでにクリスチャンであった私は心痛めました。
- ・当時。私は大学生でしたが、日本語での聖書研究会を始めていました。それは同じ日本語を話す方々へキリストの福音を届けたいという願いからです。しかし、なんの神学的知識も、教会指導者としての経験もありませんでした。
- ・私は生ける主である神を恐れていました。キリストの福音を伝えるようにという神の呼びかけに、私は背を向けることはできませんでした。神は神学的知識もない無学な私を、あわれんでくださいました。今振り返れば恐れ多いことです（なにしろ全くの無知でした）。しかし、キリストの福音を伝えることに燃えていたのでした。週に7回、8回もの家庭集会を開き、猛烈な速度で伝道し、3年間お仕えしました。そしてデュッセルドルフでキリストの教会が建てられました。それは神がなされた働きでした。

- ・皆さん。神は生きておられます。生きておられる神は、このような私を用いてくださいました。聖書は語ります。箴言1章7節。

1:7【主】を恐れることは知識の初め。愚か者は知恵と訓戒を蔑む。

主は知識も経験もないものを、確かにお用いくださいました。感謝！！

神は確かに生きておられます。

Experience your God!（あなたの神を経験しなさい）

- ・次に大切なことは、神（聖書）を信頼することです。

2. 神を信頼しなさい

- ・詩篇84篇の作者は、神の御国に向かう旅人を次のように歌いました。

84:5 なんと幸いなことでしょう。その力があなたにあり心の中にシオンへの大路のある人は。

84:6 彼らは涙の谷を過ぎるときもそこを泉の湧く所とします。初めの雨もそこを大いなる祝福でおおいます。

84:7 彼らは力から力へと進みシオンで神の御前に現れます。

- ・シオンの丘にある神殿に向かう巡礼者の幸いは次の点です。

1) 「泉の湧く所」

84:6 彼らは涙の谷を過ぎるときもそこを泉の湧く所とします。

- ・世界各地から歩いてきた巡礼者は、長旅で体は疲れ、のども渴く困難な旅でした。しかし、エルサレムの都に着けば、そこで生ける神にお会いすることができるという喜びがありました。
- ・私たちの人生も、天のエルサレムの都に向かう旅に例えることができます。作者は、「彼らは涙の谷を過ぎるときも、そこを泉のわく所とします。」と歌いました。渴きの中での潤い、それはすばらしいものです。

『例話』初のイスラエル聖地旅行 (1979年8月)

- ・ 私が一番はじめにイスラエルを訪問したのは、今から約35年前でした。当時、私はまだドイツで生活していました。ドイツから約3時間のフライトで、テルアビブ空港に到着。はじめてのイスラエルには、多くの面で感動しました。
- ・ 忘れられない思い出の一つは、死海の傍らにある「マサダの城壁」を訪ねた時です。8月の第一週で、気温40数度という異常な暑さでした。持っていたミネラルウォーターは、一気に飲んでしまいました。そしてユダヤ人ガイド兼運転手の車で、一路エリコ方面へ。ところが余りに暑く、飲料水もなく、喉が渴き始めました。運転手に、どこかで飲料水を手に入れないかと尋ねると、その辺りではないとのこと。
- ・ ところが、彼は「いいところがある！」と言って、車を側道へ入れ走らせました。しばらく走ると、目前に「なつめヤシの木」が茂り、そこに泉がわいていました。私たちはビックリしました。あまりの暑さで、水着に着替えてその泉にドボンと入り、いつとき暑さをしのぎました。
- ・ それは正しく、「渴きのなかの潤い」でした。
- ・ 作者は、「彼らは涙の谷を過ぎるときも、そこを泉のわく所とします。」と歌いました。

2) 祝福の雨

84:6 初めの雨もそこを大いなる祝福でおおいます。

イスラエルの気候は、雨季と乾季に分かれます。乾季はまったく雨がふりません。初めの雨とは秋（10月、11月）に降る雨のことです。

この雨で地は潤います。農夫はそれから作物の種を植え始めます。したがって、「種蒔きに備える雨」とも呼ばれます。プロセスは次です。

種蒔き ⇒ 発芽 ⇒ 成長 ⇒ 実を結ぶ（祝福）

- この原則は、靈的にも適用されます。みことばの種が蒔かれ、発芽し、成長し、そして実を結びます。どんな実でしょうか。聖書は次のように教えています。

5:22 これに対して、靈の結ぶ実は愛であり、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、

5:23 柔和、節制です。これらを禁じる掟はありません。

（ガラテヤ）

- 天の御国に向かう巡礼者の幸いは、もう一点あります。

3) 神の前へ

- 詩篇 84 篇の作者は、巡礼者の旅は「泉の沸くところと歌いました。なぜでしょうか？ ⇒ 神を信じる人の特権です。すなわち「主との出会い」があるからです。

- 新約聖書のヨハネの福音書 4 章には、ヤコブの井戸の側にいたサマリヤの女性のストーリーがあります。イエスは旅の疲れを覚え、井戸の傍らで休んでいました。そしてその女性に「わたしに水をください」と言われました。当時、ユダヤ人はサマリヤ人と付き合いはありませんでした。イエスは言った。

4:13 イエスは答えて言われた。「この水を飲む者はだれでもまた
 渴く。」

4:14 しかし、わたしが与える水を飲む者は決して渴かない。わたしが与える水はその人の内で泉となり、永遠の命に至る水がわき出る。」

4:15 女は言った。「主よ、渴くことがないように、また、ここにくみに来なくともいいように、その水をください。」 （ヨハネ）

- 女性は、人生の旅路で疲れていました。彼女はイエスに、「渴くことのない水を求めました」⇒その結果、彼女は「渴くことのない水を得る」ことができました。これが、神がおられる天の御国に向かう人の特権です。神に向かう人は、人生の旅路において疲れ、渴いていても、求めることができます。

- 詩篇 84 篇の作者は、次のように歌いました。

84:7 彼らは力から力へと進みシオンで神の御前に現れます。

・私たちの人生においても、祝福の雨が注がれると何が起こるでしょうか。
 ⇒ 神の祝福の実が結ばれます。
 7節はその姿を歌っています。

- ・皆さん。私たちの人生はパズルのようです。不可解で、不思議が多い世の中です。しかし、私たちの生涯は、一つ一つのピース入れて、完成させるようなものです。一つ一つのピース、それは「聖書のことば」です。
 - ・神のみことばを、あなたの心の中に置いていくなれば、パズルの全体が見えるようになります。そして、その幸いに驚くことでしょう。私たちはその完成品を見て、神のわざを讃えることができます。
 - ・聖書は「あなたは神の目には高価で尊い」と教えています。
 神はあなたを愛しておられます。⇒ ですから神を信頼することです。
 - ・作者は次のように詩篇84篇を結びました。
- 84:11 【主】は恵みと栄光を与え誠実に歩む者に良いものを拒まれません。
 84:12 万軍の【主】よ なんと幸いなことでしょう。あなたに信頼する人は。

ま と め

説 教：「人生はパズルのようだ」

—幸いな人生の秘訣—

- ・主の大庭にいる1日は、神がいない千日に勝ります。
- 1. 主の大庭には光（太陽）が照り、守り（盾）がある
- 2. 「幸いな人」とは、神を信頼する人

84:12 万軍の【主】よ なんと幸いなことでしょう。あなたに信頼する人は。

* God bless you!